

平成26年度

自己点検・評価報告書及び学校関係者評価について

この報告書は文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」(平成25年3月)に基づき自己点検・評価を行い、その内容について公開するものがあります。また、更なる学校教育の向上のため学校関係者等で組織する学校関係者評価委員会を設置し自己点検・評価報告書の内容について評価をいただくとともに学校を取り巻く環境や課題についても広くご意見やご提言を賜りここに取りまとめました。これらの取り組みによって今後ますますの学校教育の質の保証・向上が図られるよう努めてまいります。

平成27年 6月30日

専門学校 富山ビューティーカレッジ

学校長 林 邦子

# 平成26年度 自己点検・評価結果報告

評価実施日：平成26年12月

結果まとめ：平成27年 5月

## 1、評価期間

平成26年4月1日～平成27年3月31日

## 2、実施方法

【1】評価は「専修学校における学校評価ガイドライン（平成25年3月）」を参考にしています。

【2】評価は、評価期間内に年1回行うこととします。

【3】評価内容については下記のとおりとします。

### ・評価項目

- |                   |           |            |
|-------------------|-----------|------------|
| (1) 教育理念、目的、育成人材像 | (2) 学校運営  | (3) 教育活動   |
| (4) 学修、教育成果       | (5) 学生支援  | (6) 教育環境   |
| (7) 学生の募集と受入      | (8) 財務状況  | (9) 法令等の遵守 |
| (10) 社会貢献、地域貢献    | (11) 国際交流 |            |

### ・評価基準（評価は5段階評価とします。）

5：適切（実施済） 4：ほぼ適切 3：普通 2：やや不適切 1：不適切（実施していない）

## ①教育理念、目的、育成人材像

NO	評価項目	評価	実施状況
1	学校の理念、目的、育成人材像は定められているか。	5	パンフレット、HPに掲載
2	学校における職業教育の特色はあるか。	5	パンフレット、HPに掲載
3	業界のニーズ等を踏まえた中期的な将来構想はあるか。	4	各種業界団体との連携
4	学校の理念、目的、育成人材像、特色など、学生、保護者等に周知されているか。	5	パンフレット、HP及び学生心得、授業参観にて周知
5	教育目標、育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか。	5	パンフレット、HPに掲載 職業実践専門課程への取り組み

### 課題および改善内容：

基本理念等についてはパンフレットやHPに記載し、周知徹底しているが学校自体の存在を広める工夫が重要。時代の変化とのズレが生じないように常に現状把握とのすり合わせが必要。

周知徹底については学生との個人面談や保護者会などコミュニケーションの機会を定期的に作り活用する。

## ②学校運営

NO	評価項目	評価	実施状況
1	学校の目的等に沿った運営方針が策定されているか。	5	方針会議の実施、年間事業計画
2	事業計画を定め、それに沿って運営方針が策定されているか	4	方針会議の実施、学校行事計画
3	運営組織や意思決定機能は、明確化され有効に機能しているか。	5	学校組織図
4	法令等を遵守するコンプライアンス体制が整備されているか。	5	厚生労働省自己点検項目
5	情報のシステム化等による業務の効率化が図られているか。	4	学校運営ソフト導入・運用

改善内容および課題：

学校の目的に沿って方針会議の実施、職員会議においても毎月確認、点検している

厚生労働省の監査項目による自己点検の実施

情報のシステム化については今後の課題として調査・研究が今後も必要であり運用についての研修会の実施

### ③教育活動

NO	評価項目	評価	実施状況
1	教育理念に沿った教育課程の編成が策定されているか。	5	美容師養成施設の指定
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベル、学習時間の確保は明確にされているか。	5	美容師養成施設指定規則及び美容師養成施設の教科課程の基準に基づき運営
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	5	美容師養成施設指定規則に準ずる
4	職業観を育成しキャリア教育の視点に立ったカリキュラム編成や教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	5	職業実践専門課程の認定
5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携による実習、研修等）が体系的に位置づけられているか。	5	産学連携委員会の設置
6	授業計画（シラバス）を作成し、授業計画の確認、授業進捗管理、年間授業スケジュール管理を行っているか。	5	年間計画、授業カリキュラム、定期考査の実施
7	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	5	進級・卒業判定会議及び規程の設定
8	授業評価の実施及び評価体制はあるか。	5	定期考査や段階的なチェック項目
9	人材育成目標の到達に向け、採用基準に則し授業、学生指導を円滑に行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	5	美容師養成施設指定規則に準ずる
10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するため、教職員の資質及び能力向上に対する研修等の取組は行われているか。	4	教職員研修規程により実施
11	授業計画、授業内容に則した教材を選定し、授業等で活用されているか。	4	毎年度見直しを実施
12	資格取得等に関する指導体制は、体系的に位置づけられているか。	5	自由選択授業科目の設定 専門教員の充実

改善内容および課題：

厚生労働省の指定に基づいたカリキュラム編成と職業実践的な教育編成の融合

学生の授業の感想及びアンケート等を実施し学校やクラス運営及び授業毎の状況を把握し問題点の早期発見と担当教員との情報共有への工夫

教職員の資質向上、幅広い知識の習得のため資格取得や外部セミナーへの参加を奨励

### ④学修成果

NO	評価項目	評価	実施状況
1	業界就職率等の向上が図られているか。	5	卒業生の近況報告の実施
2	奨励する検定試験等の合格率、資格取得率の向上が図られているか。	5	放課後の補習等の実施

3	退学率低減に向けての取り組みが図られているか。	5	定期的な個人面談の実施
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5	Facebook 等の活用
5	業界で活躍する卒業生を招聘し、在学性に対する職業意識の向上のための講話や体験談等を実施する機会を設けているか。	5	来校時に実施及び産学連携授業での講師登録

改善内容および課題：

外部講師による就職ガイダンス・企業説明会の実施

在校生に対する卒業生講義の実施や業界のより一層の魅力発信の充実

退学者低減への取り組みとして生活指導・個別相談のより一層の強化

#### ⑤学生支援

NO	評価項目	評価	実施状況
1	就職、進学指導に関する支援体制は整備され有効に機能しているか。	5	就職ガイダンスの実施及び情報提供
2	学生相談に関する体制は整備され有効に機能しているか。	5	個別相談の機会を設定
3	学生に対する奨学金等の経済的な支援体制は整備されているか。	4	日本学生支援機構及び各種サポートの実施
4	学生の健康管理を行い担う組織体制はあるか。	5	年1回の健康診断の実施
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	学生会の設置及び補助
6	学生の生活環境への支援は行われているか。	4	生活アドバイザーの設置検討
7	保護者と定期的に連絡する体制を整え適切に連携しているか。	5	授業参観の実施及び個別相談の実施
8	卒業生への支援体制はあるか。	4	年一回の同窓会を検討。離職者に対しての進路相談・就職支援

改善内容および課題：

就職に関して企業説明会の実施

県外からの修学希望者への支援サポートの実施

クラス担任と学生保護者との連携の強化及び学校からの情報提供の方法や内容の検討

#### ⑥教育環境

NO	評価項目	評価	実施状況
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	トレーニングセンターの設置
2	校外実習施設、海外研修旅行について十分な教育体制を整備しているか。	4	産学連携委員会の設置。海外研修については今後の課題
3	防災に対する体制は整備されているか。	5	定期的な避難訓練の実施及び設備の点検
4	学生及び教職員の保健衛生管理は適切に実施されているか。	5	定期健康診断・予防接種の実施

改善内容および課題：

十分な技術トレーニングが図れるよう自主トレーニングの導入及び強化

災害時対応のマニュアルづくり

日々の健康維持のため手指消毒やうがい等の徹底と室温・湿度の管理の徹底

⑦学生の受入募集

NO	評価項目	評価	実施状況
1	学生募集活動は、適切に行われているか。	5	定期的な訪問
2	学生募集において教育成果は正確かつわかりやすく伝えられているか。	5	在校生の感想文や表彰歴の報告
3	志願者に対する問合せ、相談等に適切に対処する体制がとられているか。	5	各種相談日の設定
4	入学選考試験は、適正かつ公平な基準に基づき実施されているか。	5	入学選考基準
5	学納金は妥当なものとなっているか。	5	他校との比較・内容等の検証
<p>改善内容および課題：</p> <p>高等学校へのヒヤリングを実施し学生募集要項等に反映</p> <p>学校案内パンフレット、HPにおいて学生が必要とする項目内容の検証</p> <p>学生の立場に立った表現方法や納付方法の検証</p>			

⑧財務

NO	評価項目	評価	実施状況
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	安定◎
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	5	月1回の会計会議の実施
3	財務状況について会計監査が適正に行われているか。	5	監査あり
4	財務情報公開の体制整備はできているか。	5	25年度より実施
<p>改善内容および課題：</p> <p>中長期の事業計画に沿った財政基盤の充実</p> <p>予算、実績の差異を定期的に把握・確認し経営幹部への報告の迅速化</p>			

⑨法令等の遵守

NO	評価項目	評価	実施状況
1	厚生労働省、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	5	厚生労働省点検リスト
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	セキュリティー対策の実施
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	5	職員会議にて検証
4	自己評価結果を公開しているか。	5	25年度より実施
<p>改善内容および課題：</p> <p>学生に対して個人情報取り扱いの注意喚起の徹底とセキュリティー強化</p> <p>自己点検・評価の改善項目への取組の迅速化</p>			

⑩社会貢献・地域貢献

NO	評価項目	評価	実施状況
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	5	イベント時に施設提供
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	5	地域行事への参加

3	地域社会との連携、協力体制をとっているか。	5	地域の事業への参画
<p>改善内容および課題：</p> <p>まちづくり団体との連携による各種行事への参加</p> <p>日程調整や授業日程との調整が今後の課題</p>			

⑩国際交流

NO	評価項目	評価	実施状況
1	外国人留学生の受け入れに際し、在籍管理等の手続き等は適切かどうか。	5	研修会への参加
2	外国人留学生の生活指導等は、支援体制がとられ整備されているか。	5	生活指導者の設置
3	海外研修旅行は、安全かつ環境面、更には教育効果を高める訪問地の決定がされているか。	5	信用ある外部機関への委託
<p>改善内容および課題：</p> <p>留学生の受け入れ実績もあり。今後も積極的な受け入れ態勢の強化と留学生研修会への参加や実績校へのヒヤリングの実施を継続的にこなう。</p>			

# 平成26年度 学校関係者評価報告について

この報告書は「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程」の施行により学校関係者評価委員会を設置し、平成26年度の自己点検・評価について委員会にて評価した内容をご報告するものであります。学校関係者評価委員の皆様におかれましてはお忙しい中、多くの貴重なご意見やご指導をいただき、改めて感謝申し上げます。今後はこの貴重なご意見、ご指導を真摯に受け止め、更なる教育の質の向上、学校運営を目指し教職員一丸となって努力してまいります。

今後ともご支援いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

平成27年 6月30日

専門学校 富山ビューティーカレッジ

学校長 林 邦子

学校関係者評価委員会 委員

番号	氏名	所属先（役職）	任期	備考
		保護者関係/教育関係者		
1	碓井 好彦	元南砺市立福野小学校 校長	3年	
		地域住民/教育関係者		
2	遊道 義則	富山市教育委員会 委員	3年	
		企業等		
3	砂田 弘美	(株) 和楽美容室 (総務部長)	3年	

学校教職員

番号	氏名	所属先（役職）	任期	備考
4	林 邦子	学校長	3年	
5	笹原 成子	教務部長	3年	
6	笹原 正徳	事務局長	3年	



# 平成26年度 学校関係者評価委員会

日 時：平成27年 6月18日（木）  
11:00～13:00  
会 場：専門学校 富山ビューティーカレッジ  
会議室

## 1. 開 会

## 2. 出席者の確認（6名）

出席者：碓井好彦、遊道義則、砂田弘美、林 邦子、笹原成子、笹原正徳（敬称略）

## 3. 学校長挨拶

職業実践専門課程について実績状況および今後の取り組みについて報告

## 4. 議題及び資料の確認

資料：自己点検・評価報告書  
専門学校新聞

## 5. 議題

### ①自己点検・評価の評価報告について

内容：

平成26年度自己点検・評価報告書の内容について説明および各項目についての課題を説明したのち質疑に入る。

- ・学校の理念・教育方針について広く告知していくためにパンフレットや特にホームページを活用していく。
- ・校舎の立地を活かした取り組みやイベントを地域の方々とも連携して企画・運営していく必要性やニーズに対応して行ってほしい。
- ・専門学校は入学時にかなり職業意識が強く目指す業種も明確なのでより実践教育に向けたカリキュラムの導入に心がける。また、学生の夢の実現に向けた人間性、技術力の向上について、かなりの成果が出ていると評価をいただいているので今後も愛情をもって厳しく指導いただきたい。
- ・現社会において元気・笑顔など初対面でも気持ちの良い接客が求められるが学生達の挨拶は近隣からの評価も高く素晴らしい。
- ・コンクールなど素晴らしい実績をあげていることに対して教職員の皆さんの日頃の学生への携わり方にはすごく熱意を感じる。その反面、事務関連の業務について繁雑になるのではないかと思うがこれまで通り学生に専念できる体制を維持してほしい。

- ・実習など技術的な授業が多いと思うがパソコンや ipod などの導入も検討してみてもどうか。
- ・卒業後もたくさんの学生が訪ねてくることは大変素晴らしい。ぜひ在学生への刺激になる機会をこれからもたくさんつくっていただきたい。
- ・家庭環境において様々な状況の学生が混在すると思うが保護者との連携をしっかりとって三位一体での教育を目指してほしい。
- ・今後 18 歳人口の減少が進むが学生募集においては学生の立場や社会の立場に立った教育を今後も展開してほしい。また学校の取り組み内容がパンフレット、HP、facebook など活用して広く周知していくことが望まれる。
- ・学外活動は様々な職業の人と知り合える機会でもあるので積極的に取り組んでほしい。
- ・都会の方では外国人留学生の受け入れも増えてきていると聞いているが当校でも調査・研究をしていくことが望ましい。

今後、学校関係者評価からの意見、課題について対応を検討するとともにこれからも積極的な意見をいただけるようお願いし議事を終えた。

## ②その他

新たな高等教育機関について報告

6. 報告事項

7. その他

8. 閉 会

以上